

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	青少年問題協議会運営					所管	区民部 子育て・若者支援課	
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和39年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区青少年問題協議会条例、東京都台東区青少年問題協議会条例施行規則				
	事業対象	根拠法令に定めるところの構成員及び関係行政機関他						
	事業目的	青少年関係行政機関の連携促進、民間遊び場の維持管理等を行うことにより、青少年に係る各種問題に対応する。						
	事業内容	青少年問題協議会の開催、青少年健全育成方針の策定及び普及、警察との共催事業(講演会)のほか、民間遊び場(浅草寺児童公園等)の維持管理など青少年に関わる幅広い事業を行っている。						
委託の有無	一部委託	委託内容	民間遊び場の遊具保守点検委託					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	青少年問題協議会年間開催回数	(回)	1	1	1	1	
		成果指標	推進方針の策定・配布部数	(部)	2,000	2,000	2,000	2,000
	決算額 (単位:千円)				2,106	2,162	3,149	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,266	2,261	1,983	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,454	1,510	1,200	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			517	516	1,100	
		総経費			4,237	4,287	4,283	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			4,237	4,287	4,283			
前回評価から改善した事項	民間遊び場である浅草寺児童公園に対する補助金の適正化を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	青少年育成事業の推進においては、行政・関係行政機関・地域など各関係機関が連携して行うことが重要であり、継続的に行うことが必要である。					
	効率性	3	青少年問題協議会全体会について、課内で出席がほぼ同じ会議があることから、一体的な運営を行うことで事務の効率化を図っている。					
	手段の適切性	3	青少年問題協議会は法令により設置しているものであり、運営に関しても全体会に下部組織を設けるなど適切に行っている。					
目的達成度	4	青少年問題協議会全体会を開催、方針を策定し、委員等に広く周知することで一層の連携を図っている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	維持 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
青少年問題協議会全体会については区内外の青少年に係る機関が一堂に会し、方針決定や情報共有する貴重な機会である。その他の事業についても、青少年の健全育成に寄与するものであることから、今後も継続して実施していく。								